

事務事業名	中学校営繕事業	会計名称	一般会計		担当課	学校教育課		
		予算科目	10 款 3 項 1 目	事業番号	4400	所属長名	鶴岡正直	
事業評価の有無	☒ 評価対象事業 ☐ 評価対象外事業（事業の概要・結果のみ）				担当責任者名	福積和富		
法令根拠等	教育基本法、学校教育法				実施期間	【開始】	平成 29 年度	
総合計画での位置付け	生涯教育都市の創造					【終了】	平成	年度(予定)
	学校教育環境の整備・充実						☒	設定なし
総合計画における本事業の役割	学校施設の適正な維持管理							
事業の対象	市内4中学校		事業の目的	生徒が安全で安心に過ごせる学校施設の整備を図る。				
事業の内容 (整備内容)	中学校施設及び設備の修繕・改修		昨年度の課題に対する具体的な改善策					

事業費及び財源内訳（千円）							事業活動の実績（活動指標）						
項目		前年度決算	当初予算額	補正予算額	継続費その他	翌年度繰越	決算額	項目	単位	29 年度実績	30 年度予定	9月末の実績	30 年度実績
財源内訳	直接事業費	1,938	106	0	0	0	100	整備状況	%	99	100	0	94.3
	国庫支出金	0	0	0	0	0	0						
	県支出金	0	0	0	0	0	0						
	地方債	0	0	0	0	0	0						
	その他	0	0	0	0	0	0						
	一般財源	1,938	106	0	0	0	100						
職員の人工（にんく）数		0.40	0.40				0.40			0			
1人当たりの人件費単価		8,017	7,982				7,982						
※ 直接事業費÷人件費		5,145	3,299				3,293						
主な実施主体		学校教育課		実施形態（補助金・指定管理料・委託料等の記載欄）		直接施工							
向こう5年間の直接事業費の推移 （千円）						31 年度	32 年度	33 年度	34 年度	35 年度	5年間の合計		
						106	1,000	1,000	1,000	1,000	4,106		
成果指標	指標	支出額÷予算額	単位	⇒	区分年度	29 年度	30 年度	31 年度	目標	毎 年度			
			%		目標	100	100	100	100				
	指標設定の考え方	安全で安心な施設の整備が図れたかを指標とすべきと考えられるが、設定が難しいため予算額（学校の要望）に対する執行率を指標として整備状況とする。なお、施工時にコスト縮減等適正な執行に努める。	実績		99	94	100	100					
			指標で表せない効果										

事務事業評価（CHECK）

新たな課題や当初の改善策に対する対応状況 （今年度の途中経過）			工事費の確保						
事業 <									

施 策 を 踏 ま え た 判 断	二 次 判 定	☐	一次判定結果は以下の点について良好と評価し、更なる事業推進を求める。	⇒	指摘事項を踏まえ、事務改善、事業推進に努め、今年度の事務事業評価シートに反映させること。
		☒	一次判定結果のとおり事業継続と判断する。		
		☐	一次判定結果のとおり事業継続と判断するが、以下の課題を新たに追加する。		
		☐	一次判定は以下の点について外部評価が必要と判断し、行政評価委員会に諮ることとする。		
		☐	一次判定結果のとおり事業縮小と判断し、行政評価委員会に諮ることとする。		
☐	一次判定結果のとおり事業廃止と判断し、行政評価委員会に諮ることとする。				
☐	既に事業廃止が決定していることから、廃止に向けた手続を行う。				

行政評価委員会の答申	外部評価	答申の内容
------------	------	----------------------

今後の方向性（ACTION）

の 経 最 終 者 判 会 断 議	事業の方向性		コメント欄
	☐	さらに重点化する。	
	☒	現状のまま継続する。	
	☐	右記の点を見直しの上、継続する。	
	☐	事業の縮小を行う。	
	☐	事業の休止、廃止を行う。	